

令和 6 年 度

自己評価表

学校法人 愛媛学園

愛媛調理製菓専門学校

令和6年度 愛媛調理製菓専門学校 自己評価表

1. 学校の教育目標

- (1) 豊かな美しい人間性を持つ人材の育成
- (2) 心を大切にして技術の向上に努める人材の育成
- (3) 常に笑顔を持ち、社会に貢献できる人材の育成

学校訓

- 一、調理の真髄は調理にあらず調理する心にある
- 一、自主独立の精神と研究心に旺盛であれ
- 一、迅速 正確 清潔を旨とせよ
- 一、勤労を重んじ調理をもって社会に奉仕せよ
- 一、学園の規則を守り己れの本分に忠実であれ

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 生徒募集活動の強化（学校の魅力発信・オープンキャンパスの充実）
- (2) 学習方法、指導内容、試験等の評価基準の見直し、学生管理の情報共有
- (3) 業務改善による効率化とコスト削減の推進

3. 評価項目の取組状況・達成状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・経済社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3

・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する 業界のニーズに向けて方向づけられているか	3
---	---

① 課題

職業人としての厳しさを前提とした指導より、楽しみや興味を持って技術の習得に向かう指導が求められている。

② 今後の改善方策

慎重な学生対応と学生の主体性を尊重した教育ができるよう教職員のスキルアップを図る。

③ 特記事項

学生の中には、集団生活が苦手で、ストレス耐性が低いなどの傾向が見られる。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
・人事・給与に関する規定等は整備されているか	3
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

実習材料費や光熱費をはじめとする、諸物価の高騰、少子化の進行など、学校運営に大きく影響する問題がある。

② 今後の改善方策

次年度に更新する予定のPCを活用し、業務の効率化を進める。

③ 特記事項

学校法人のガバナンス強化を主な目的とした改正私立学校法（令和 7 年 4 月 1 日施行）にあわせ、寄付行為の変更申請を行い、愛媛県知事より認可された。

（３）教育活動

評価項目	適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業・関連施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
・授業評価の実施・評価体制はあるか	3
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる用件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4

・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
-------------------------	---

① 課題

学生数の減少に伴い、実習教室の使用方法やグループ編成などに困難が生じるケースがある。

② 今後の改善方策

業務内容の明確化を通じて、働き方改革の推進と計画的な人材育成の実現を図る。

③ 特記事項

教職員の資格取得の取り組みを支援し、専門性の向上と組織全体の資質強化を図っている。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

個人情報保護への配慮が求められる中、卒業後の動向把握が難しくなっており、進路支援を継続的に行うことにも一定の困難が生じている。

② 今後の改善方策

SNS や卒業生ネットワークの活用を通じて情報収集を図り、就職活動や卒業後の支援体制の強化を図る。

③ 特記事項

学生一人ひとりに寄り添った丁寧な対応と指導の見直しを継続的に行っており、教育の質の向上に取り組んでいる。

(5) 学生支援

評価項目	適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	3
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

入学者の減少により、学校独自の経済的支援では対応に限界が生じており、公的支援制度を的確かつ有効に活用する体制の整備が求められている。

② 今後の改善方策

社会人や留学生を含む多様な学習者が主体的に学べる柔軟かつ包摂的な教育環境の整備を推進する。

③ 特記事項

高等教育修学支援新制度は、見直しがなされ、対象学生の拡張と同時に機関要件の条件の変更があった。

(6) 教育環境

評価項目	適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3

・防災に対する体制は整備されているか	3
--------------------	---

① 課題

海外研修については、旅費の高騰や学生数の減少、学内の体制などの諸問題により再開できていない。

② 今後の改善方策

近年、大きな自然災害も増加傾向にあり、防災計画の見直しをする必要がある。

③ 特記事項

全校規模で防災訓練を実施し、避難経路や防火設備等の確認を行った。

(7) 学生の受入募集

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
・学納金は妥当なものとなっているか	3

① 課題

少子化や大学進学傾向が進んでおり、若者の質も変化しているため、効果的な募集活動が難しくなっている。また、県内外の競合校の活動も活発化している。

② 今後の改善方策など

広報や募集活動を見直し、新しい手法を取り入れる。

③ 特記事項

物価高騰にあわせ学納金の見直し検討も必要だが、学納金の妥当性をどのように判断するかが難しい。

(8) 財務

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3

・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

少子化による収入減と物価高騰による支出増の双方により、厳しい経営環境に直面している。

② 改善方策など

学生募集に注力する一方で、業務改善による経費削減に取り組む。

③ 特記事項

政策金利の上昇に伴い借入金にかかる金利負担が増大しており、今後の動向についても不確実性が高い状況が続いている。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
・自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

コンプライアンスについては、個人の認識にギャップがあり、共通認識の醸成が課題。

② 今後の改善方策

コンプライアンスについては適宜、機会を設け、情報共有を行う。

③ 特記事項

情報セキュリティやハラスメントについて職員研修会で情報共有を行った。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献	4

を行っているか	
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

社会貢献活動を、広報活動として取り上げ、学生募集に繋げることが肝要。

② 今後の改善方策

災害時に学校施設、設備を利用した社会貢献などについて検討する。

③ 特記事項

恒例化しているイベントもあり、主催者側から頼りにされているものもある。

(11) 国際交流

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持っているか	3
・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理などにおいて適切な手続き等がとられているか	3
・留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	2
・学習成果が国内外で評価される取組みを行っているか	2

① 課題

過去に留学生の在籍はあったが、現在在籍者は無く、受け入れについての十分な組織体制が十分であるとは言えない。

② 今後の改善方策

留学生の受け入れ体制を整備し、入学のための情報発信を行う。

③ 特記事項

コロナ禍後、外国人留学生は増加傾向にあり、社会的に労働力として外国人への期待も高まっている一方、非漢字圏からの外国人が多く、日本語学校卒業者といえども、日本語のレベルが、専門学校の通常クラスでの学習には困難なことも多い。